

八坂祭りを市民の誇り となるお祭りにするために

赤出川 義夫



問 吉川市民全体が参加できるような取り組みについての考えを伺いたい

答 歴史ある八坂祭りは、市内外に誇れるお祭りであり、観光協会として支援をさせていただいている。地元から引き続き神輿競演の吉川駅前開催要望があります。八坂祭りは、市の魅力発信に大きく寄与するものであり、地元の方々と連携を図り取り組んでまいります。

問 中川の堤防高上げの完成予定について

答 江戸川河川事務所に確認したところ、平成30年度に高久雨水ポンプ場西側において、試験盛土を実施し、沈下量などの検証が行われたところで、工事の完成時期は未定。昨年台風19号で河川水位が、氾濫危険水位を超えたことを踏まえ、早期に工事着手されるように要望してまいります。

問 成年後見制度について市の取組を伺います

答 認知高齢者が増加していくと予測、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、8期吉川市高齢者福祉計画の策定において支援体制の整備を検討してまいります。

予測不能な自然災害に対する 防災・人災について

大泉 日出男



問 台風19号を受けて①防災ラジオ導入の今後の方向性②防災意識可視化による「浸水深」はいつどこに③避難場所指定の体育館にエアコン設置と避難場所環境は④避難所受入れの状況、要支援含め、過ごし方、主な声、今後の課題等は

答 ①導入に向けて未だ調査研究中②早期に幹線道路37箇所に予定③導入は現段階では未定で困難④避難が先立った為備蓄品は携行せず毛布、敷物、飲食物の要望があり今後は自主防災組織の運営が必要で自助の視点から常に備蓄や啓発運動を進める

◆まちの価値を高める新たな競争力、成長を生み出す 経済産業政策について

問 ①商業活性化を含めてどのような競争力を検討②中小企業の後継者の課題について③人口減少にむけ新しい産業次世代通信規格5Gを取り入れる所見④当市プレミアム商品券の検討導入の展望は⑤住宅改修補助金の増額予算と時期。

答 ①農商工連携し産業振興計画を着実に遂行する②国税制の事業継承の在り方をセミナーで実施周知③動向注視する④調査研究を継続⑤6月頃受付3月改修終了で昨年より微増の予算措置。

三輪野江産業振興地域における 資材置場の安全対策を

飯島 正義



問 三輪野江地域においては近年様々な事業所と同時に資材置場が乱立している状況です。三輪野江2351番地の資材置場では、鉄筋、鉄骨の切断及び運搬がされています。早朝から深夜2時頃までの操業による騒音被害が起きています。市の対応経過と今後の方向性について質問します。

答 三輪野江の資材置場は、平成29年3月頃に都市計画法違反の状況の中、事業を開始しました。平成30年1月28日に初めて騒音の相談が担当課に寄せられ、立ち入り調査を行うとともに騒音対策指導を行いました。その後、現場確認とともに改善指導を継続しています。早朝、夜間の作業における作業騒音について近隣の方から相談を受けることがあり、今年に入ってからも2月3日の相談を機に作業場の立ち入りし、深夜に及ぶ作業を認めため、厳しく指導しました。今後は、作業時間の徹底を引き続き指導するとともに、事業者の騒音対策の実施にあたり、開発行為を所管する都市整備部とも調整を図りながら対応します。

商工業施設等と協定を結び、 水害時の避難所確保を

雪田 きよみ



問 地球温暖化の影響を受け、豪雨災害が頻繁に繰り返されている。吉川市でも近い将来必ず大規模な災害が起きるのではないかと、多くの人が不安を抱いている。吉川市洪水ハザードマップでは、中川・江戸川・利根川の氾濫それぞれで広範な浸水被害が予測されている。大型水害の際、避難が必要と見込まれる世帯数、避難者数は。

答 気候や河川の条件、避難者の避難可否等様々な状況が考えられ、避難者数の想定は困難。

問 最大何人程度収容できる見込みか。

答 水害時の指定避難所として全17カ所、最大収容人数は9,867人。

問 2階までの浸水被害の場合、避難所難民が発生するのではないか。見解は。

答 一部地域では2階まで浸水被害の恐れがあり、自らの命を守る行動をとっていただく必要がある。

問 マンションや工業・商業施設を避難所として利用する協定の締結が必要ではないか

答 中高層の民間建物を緊急一時的に利用することは重要。建築物所有者や管理者と協定締結などの協力体制構築に務めていく。